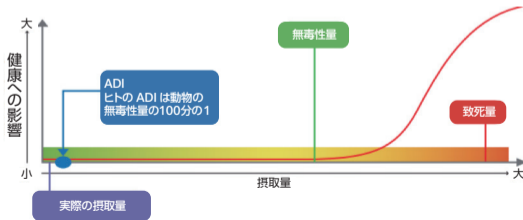


食品添加物について④

5月号でお知らせしましたが、摂取することで、悪い影響を及ぼす成分や状態を「ハザード(危害要因)」、体に影響が出る可能性とその度合いを「リスク」といいます。リスクの高さは、ハザード×摂取量で判断します。どんな食品でも摂取量が多すぎるとリスクが高くなります。https://www.naracoop.or.jp/goods/pdf/koe_2305.pdf

食品安全委員会は、動物を用いた試験結果等から食品添加物を科学的に評価します。各種試験から求められた無毒性量(有害な影響が見られない最大量 単位:mg/kg体重/日)をもとに、動物と人との差、人と人との個人差を考慮して設定された安全係数である100で割って、ADI(Acceptable Daily Intake 一日摂取許容量)を求めます。ADIは現時点での評価から、人が一生涯にわたって毎日摂取しても健康に悪影響がないと考えられる1日当たりの摂取量(単位:mg/kg体重/日)です。厚生労働省の調査によると、実際に摂取している食品添加物の量はADIの値よりも低い値です。





商品検査レポート



7月に実施した商品検査の結果をご案内します。

微生物検査	検査数	特に問題となる商品はありませんでした。
	870	

理化学検査	検査数	301
-------	-----	-----

主な検査項目	食品添加物※	簡易農薬	畜種判定	残留農薬※	ヒスタミン	カビ毒	放射性物質
	30	40	6	11	55	5	39

※外部検査機関へ
依頼 2 検体を含む

※外部検査
機関へ依頼

毎月の検査結果は HP にも記載しています。

<https://www.naracoop.or.jp/goods/letter/koedayori.html>